

# 福祉

## 介護認定と介護に関して

川里春治議員(政和) ①認定調査に家族が同席することで、逆の結果になっていないか。

②認定の際、看護師や介護員の意見をとりあげているか。

③本人の状況が変わらないのに、更新のために要介護度が変わるのはいずれか。

市長 ①より正確な調査を行うため同席をお願いしている。同席により要介護度が低く判定されることはないと考えます。

②介護の期間や日ごとの状態等を必要に応じて聴取し、認定調査に反映させている。

③更新ごとに新たに認定調査を行い、本人の心身状態を確認している。全く変化がなければ同じ要介護度に判定される。

## 精神障がい者の地域での生活を支援するために

平野ひろみ議員(生ネ) ①精神障害者に対する生活支援サービスの現状は。

地域生活支援センター あさやけ(小川東町四丁目)



②退院促進事業を今後どのように進めていくのか。

③就労支援の充実に向けて今後の課題は何か。

市長 ①地域生活支援センターあさやけや障害者福祉課で相談を受け、よりよい生活支援のサービス提供に努めている。

②地域生活支援センターと連携をとりながら、市としても退院の実現に努めていく。

③精神障害者に対する企業の理解不足、中途退職、雇用情勢の悪化などが挙げられる。

立花隆一議員(公明) ①4月に認定基準を見直し、10月から基準を修正した原因は。

②見直しにより認定精度が下がることもあるが対策は。

③特記事項を記入する認定調査員への研修や、能力向上のための取り組みは。

市長 ①4月の見直しは最新の介護の中間を反映させることと認定結果のばらつきを是正するために行われたが、利用者からの不安の声を受けて43項目の判断基準を修正した。

②研修を充実して対応したい。

③国・都・市で研修を実施している。

## 介護保険の認定は当該高齢者の実態を反映しているか

木村まゆみ議員(共産) ①た

び重なる認定基準変更の影響は。②新規申請者の認定結果を1年前と比較するとどうか。③非該当と認定された方の、介護予防は十分か。

市長 ①本年4月からの新基準

の認定では、経過措置により必要なサービスの提供は確保されている。10月からの判断基準の修正は、調査員研修を実施するとともに、認定更新者には経過措置の終了を周知した。

②非該当から要介護1までの割合が高くなり、要介護2から要介護5の割合が減った。

③医療機関の受診結果により、状態に合った介護予防事業を案内し、参加してもらっている。

## 医療と介護の連携について

平野ひろみ議員(生ネ) ①医療と在宅ケアをつなぐ上での地域包括支援センターの役割は。

②在宅医療・在宅ケア事業者の連絡会議を設置できないか。

③在宅緩和ケアのための地域医療連携をどうとらえているか。

市長 ①ケアマネジャー等と連携し、必要な介護サービスや医療サービスが受けられるように調整を行っている。

②現時点で設置の考えはないが連携の必要性は認識している。

③在宅でも適切な緩和ケアの提供ができるように地域の関係機関が連携し、患者やその家族を支えることが重要と考える。

## 福祉会館等の和室集会所を使いやすくするために

浅倉成樹議員(公明) ①老人会などの会合がある場合、座卓の設置や片づけなどを手伝う人を配備することはできないか。

②座卓のような備品を高齢者にも容易に使いこなせるものに見直すことができないか。

③施設や器具の高齢者標準を設定して利便性を高めることが



和室ホールの座卓(福祉会館)

必要では。

市長 ①現状では考えていないが、利用者の意見を聞き可能な対応に努めたい。

②買いかえ等の際にはより軽量で使いやすいものを採用するよう努めている。

③提言として受けとめ、利便性向上に向けて研究を重ねたい。

## 小平市福祉会館のエレベーターについて

滝口幸一議員(フオ) ①なぜ、今の時期に工事するのか。

②階段利用が困難な利用者への配慮は。

市長 ①開設から37年ほど経過して経年劣化が危惧されるため、安全性を図るとともに、福祉のまちづくりの整備基準に沿うよう対応が求められていた。そのため、閉鎖しない形の工事を検討し、課題の少ない手法を選択して実施に至った。

②工事中の対応等の説明を行い、階段利用の見守りなどを行うための人的配置を整えたい。

③期間短縮に重点を置き可能な限り対応したい。

# 都市整備

## 市内の交通網整備の今後について

山岸真知子議員(公明) ①に

じバスを鷹の台駅まで延伸する計画の検討状況は。また鷹の台駅以西に延伸する考えは。

②コミュニティタクシーを考

える会が立ち上がっていない地域に対する働きかけは。

市長 ①JA東京むさしや小平商工会等がメンバーであるに

バス協議会で検討したい。鷹の台駅以西へ延伸する考えはない。

②地域から声があれば、地域の取り組み状況を含め説明している。動きがない地域には説明会の実施等を計画する必要もあると考える。

## 公共交通とまちのデザインについて

日向美砂子議員(生ネ) ①コ

ミュニティタクシーの考え方を未実施地域の市民に伝えることはできないか。

②市全体の交通デザインをど

ぶるべー号(小平駅入口)



のようになっているか。

③公共交通網を整備するプロセスで把握した市民ニーズをま

ちづくりにどう生かすのか。

市長 ①説明会実施等の必要はあると考える。

②地域特性に合ったコンパクトな生活を充実させ、移動しやすい公共交通を整備したい。

③市民、団体等と連携、協働することさまざまな案が生まれ、町が活性化すると考える。

## 公共交通の近隣市共同運行事業について

斎藤貴亮議員(フオ) ①コ

ミュニティタクシーの花小金井ルートでの運行実績は。

②市境地域のニーズ調査は行

われているか。

③近隣市との相互乗り入れに

取り組めないか。

市長 ①総合運行日数は延べ180日間、一日平均乗車人数は33.8人、ルート変更後の一日平均乗車人数は39.8人、一便平均乗車人数は2.2人である。

②市境に限定しての調査は行っていないが、生活行動調査を実施している。

③経費負担や道路整備状況等を考えながら研究したい。

## 薬用植物園の今後と活用について

鴨打喜久男議員(政和) ①薬

用植物園の意義と価値は。

②民間委託の業務内容は。

③薬膳料理をつくり、小平の名産として市内のレストランに

おいてはどうか。

市長 ①あかしあ通りは市のシンボル道路と位置づけ、グリーンロード化事業として整備を予定しているため交換などの申し入れは考えていない。

②連続立体交差の検討対象区

間でないため計画はないが、今

後も市長会などを通じ都に要望していききたい。

条例を使って住みよい

小平のまちを

苗村洋子議員(生ネ) ①沖電

気グラウンド跡地等の大きな開発で得た教訓は。

②形式的には合法でも、不当なものや地域にそぐわないものは改善を求める対応が必要だと思

うがどうか。

市長 ①地区計画の必要性や土地

地利利用転換に対する住民への周知、周辺地区との持続的な地域

コミュニティが形成されるような指導が大切と認識した。

②条例等に適合する開発事業

を行うよう事業主を指導するとともに、周辺住民と事業主がお互いの立場を尊重し、地域のま

ちづくりのルールを話し合うよう誘導している。

天神町のマンション等の住宅

建設計画の現状と今後について

佐藤 充議員(共産) ①天神

町一丁目やNTT花小金井東住宅跡地、同西住宅跡地の現状は。

